

# 経 営 学 部

経営学部 みなさんへ  
経営学部の教育理念

① 第1部経営学科・ビジネス法学科

② スペシャリスト養成コース

- コンサルティングコース
- 税法会計コース

※ 「進路別履修モデル」

③ 第2部経営学科

# 経営学部の新入生のみなさんへ

経営学部長 藤澤 宏樹

## ご入学おめでとうございます

みなさんご入学おめでとうございます。みなさんの入学を心より歓迎します。

これからの大学生活を、目一杯楽しんでもらいたいと思います。

## 経営学について

経営学は、一般企業のほか病院、学校、政府組織なども含めた組織体のマネジメントを研究対象とする学問です。具体的にいうと、経営学とは企業の有する経営資源（ヒトとかモノとかカネとか情報とか）をいかに効果的に配分し活用するかと考える、ということになるのでしょうか。だとすると、「いかに儲けるか」だけでなく、企業（組織）の長期的な存続・発展のために企業活動を方向付ける戦略の策定や収支管理はもちろん、従業員、株主、顧客、取引先、地域社会などステークホルダーとの関係構築・管理の研究も不可欠になります。そして、これらを研究するにあたっては、法的素養が必要となってくるのです。

## 経営学部・各学科の特色

そこで、大阪経済大学経営学部では、「経営と法の融合」というスローガンのもとで経営学を学んでもらおうと考えました。つまり、みなさんに、経営と法の両面に精通した市民・職業人になってもらおうというわけです。各学科の特徴を以下に述べます。

経営学科では、市民社会・ビジネス社会の一員としての基本的知識・ルールと実践的能力を身につけ、企業経営のみならず法律にも強い市民・職業人を育成することを目標としています。

ビジネス法学科は、ビジネス社会の法化の進展をうけ、企業活動に不可欠となっている法の基礎知識と運用能力を身につけ、経営にも強い市民・職業人を育成することを目標としています。

2部経営学科は、様々な学習目的や動機をもった、幅広い年齢層のキャリア形成を支援することを軸にして、経営とビジネス法に関する基礎教育と資格取得を支援することを目標としています。

## 一步一步積み重ねればどこまでも行ける

2018年1月、冒険家の荻田泰永さんが、南極点までの工程1126キロを50日間で踏破し、「南極点無補給単独徒歩到達」に成功しました。荻田さんはインタビューの中で、「到達してうれしい。50日間、目の前の一步一步の積み重ねだった。目の前の一步一步は小さいけれど、それを重ねていけば1万キロにも2万キロにもなる。一步一步重ねていけば、どこまでも行けるんです」と答えていました。みなさんも、これからの大学生活の中で、目標に向かって、目の前の一步一步を大切にして勉強してください。期待しています。

## 経営学部の3ポリシー

### ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

大学の定める全学的な学位授与の方針に基づき、経営学部が示す以下の知識や能力、姿勢を備えた者に学士（経営学）を授与します。

#### （経営学部DP1）

経営学と法学の思考基盤を持ち、企業社会における諸問題を複眼的に分析し、解決することができる。

#### （経営学部DP2）

起業や組織の設計・運営、発展させるための手法を、経営学・法学の両面から専門的な知識や能力を身に付け、具体化することができる。

#### （経営学部DP3）

企業社会に利する目標に動機づけられた自らの夢や目標を発見し、その実現に向けて主体的に社会や他者とつながることができる。

### カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

経営学部の学位授与の方針に掲げた知識・能力を身に付けるため、全学の教育課程編成・実施の方針に基づき、学位プログラムを以下の通り編成します。

#### （経営学部CP1）

全学共通科目では、幅広い教養の修得や学びの土台づくりのために語学科目・広域科目を編成する。

- ・語学科目では、多文化理解を深めるとともにコミュニケーション能力を身に付ける。
- ・広域科目では、人文科学・社会科学・自然科学の科目群と、キャリア形成科目において、幅広い教養と生涯にわたって生き抜くための思考力を身に付ける。

また、指定する科目群の中から修得することで、経営学部での学びの基礎を身に付ける。

#### （経営学部CP2）

経営学部の専門教育科目を「経営と法の融合」の教育理念のもと、学科・コース間での相互履修を可能にし、理論と実践を掛け合わせ以下のように編成する。

##### ○経営学部第1部

##### ・「学部基礎科目」

初年次で学ぶ当科目群で、経営学やビジネス法学、会計学の基礎知識や、基礎的なPCスキルや自身のキャリア志向について身に付ける。

##### ・「学科専門科目」

「必修科目」「基幹科目」「展開科目」「融合科目」を編成し、体系的に経営学・ビジネス法学の基盤となる知識を身に付ける。

##### ○経営学部第2部

「学科基礎科目」「学科基幹科目」「経営コース科目」「ビジネス法コース科目」「サービスマネジメントコース科目」「キャリアサポート科目」の6つの科目群により、自身のレベルに応じて自由かつ段階的に履修できるよう教育課程を編成している。

**(経営学部CP3)**

- ・少人数制の演習科目（ゼミ教育）を開講している。そこでは既存研究の自主学習、研究発表、討議などを通して企画・立案・調査・論理的思考を学び、構想力や公正な判断力を養う。
- ・その他少人数教育科目では、実践を通して特定の課題に対して向き合い、解決に向けた様々な手法を学ぶ。

これらの教育課程について、「大阪経済大学アセスメントポリシー」に基づき、様々な角度からの評価（試験・レポート、小テスト、外部アセスメントテスト等）をすることにより学修成果を把握します。

また、教育課程における各授業科目については、シラバスに到達目標を定めどのように評価するかを記載することで質を保証するとともに、教育課程全体の評価・検証の状況を把握します。

**アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）**

経営学部は、教育目標に定める多彩な職業人を育成するため、次のような意欲と能力を備えた者を受け入れます。

**(経営学部AP1)**

経営学部の「経営と法の融合」に基づいて編成された諸科目を修得する能力と資質を備えている人物を受け入れる。具体的には高等学校の履修科目で経営学部の科目と関わりある分野の基礎的知識を有している者。

**(経営学部AP2)**

社会に関して幅広い興味や関心を持ち、さまざまな活動を通して自己の夢や目的の実現について積極的意欲を有している者。とりわけ、自律的な学修意欲と実践能力を有した者。

**(経営学部AP3)**

多様な人々と協働しながら学び、議論を行うことに意欲をもつ者。具体的には、他者と積極的にコミュニケーションを図り、互いを認め合い、切磋琢磨することに意欲をもつ者。

上記のような者を受け入れるために、以下の入学試験において公平かつ適正に選抜します。

**【総合型選抜】 【学校推薦型選抜】 【一般選抜】 【社会人入試・国際留学生入試】**

(各選抜方式の詳細は「全学アドミッション・ポリシー（6ページ）」を参照してください)

# 経営学部の教育理念

## （１）「経営と法の融合」教育

大阪経済大学「経営学部」は、「経営学科（第１部、第２部）」と「ビジネス法学科」で構成されています。「経営」と「（ビジネス）法」というと、何やら異質の組み合わせのようですが、本学部はこの２つの接点に着目して科目と教員を配置した、ちょっとユニークな学部です。経済のグローバル化に伴い、日本のビジネス社会においても今後ますます「法の遵守」「共通のルールに則った競争」が重要視されていきます。そのため、企業社会に関連する法律を学びながら経営を学んでもらおうと、「経営と法の融合」を経営学部の教育理念としています。

## （２）「学部基礎科目」と「基幹科目」「展開科目」「融合科目」

経営学部の専門科目として１年生に配当されるものを、「学部基礎科目」と言います。本学部のカリキュラムをこなしていく上で、またカリキュラムの全体像を理解する上での基礎となる科目群です。学科・コースによって履修の優先度は若干異なりますが、どの科目も全員に取っておいてほしい科目です。

２年生以上に配当される専門科目のうち、必修科目でないもの（選択科目）を「基幹科目」「展開科目」「融合科目」として分類しました。このうち、各学科にとっての中心的なテーマを扱う科目・共通となる考え方を学ぶ科目が「基幹科目」です。

次いで、基本的な知識や技能をもとに、自らの興味や関心、将来の専門的な活動分野に応じて、関連する「展開科目」を履修して下さい。各学科に関わる科目が多岐にわたって配当されています。

「融合科目」は、別学科に配当されている科目のうち学科カリキュラムとの関連性が強く優先度の高い科目です。「経営と法」を融合させるためにも、専門領域に偏らない視角を広げる意味でも、十分に検討したうえで活用してほしい科目群です。

## （３）スペシャリスト養成コース

経営学部では、「経営学科」「ビジネス法学科」という通常の学科カリキュラムの他に、「スペシャリスト養成コース」として「コンサルティングコース」「税法会計コース」の２つコースカリキュラムを設けています。共にとりわけ資格志向の学生諸君をバックアップすることを意識し、４年間で資格取得を目指すカリキュラム編成となっています。

将来中小企業診断士やコンサルタントといった企業経営のアドバイザーとして活躍したいと考えている学生諸君は、「コンサルティングコース」に所属することをお勧めします。また、同じアドバイザーでも財務・税務といった分野の専門家を望む学生諸君には「税務会計コース」がおすすめです。税理士や公認会計士を目指そうというのであれば、きっとこのコースが希望を叶える近道となるはずです。

## （４）「専門演習〈ゼミナール・通称ゼミ〉」

大学の授業には、教員が教壇に立って進める〈講義〉のほかに、教員と学生が相まって双方向で行う「演習」があります。これは、募集時に教員が掲げるかなり専門的なテーマごとに少人数のグループに分かれ、研究課題へ取り組んでいくものです。演習担当教員の指導の下にメンバー相互で調査や検討を重ね、ディスカッション・研究報告などを行っていきます。こうした事柄を通じて深く考えることのほかに、より主体的に課題に取り組むこと、自分なりの意見をまとめ上げること、

プレゼンテーション能力を磨くことを実践していきます。そして、集大成として各自で「卒業論文」を作成していくこととなります。

なお、ゼミによっては教室内の活動にとどまらず、工場見学や実地調査、聞き取り調査などのフィールドワークを行うものもあります。スポーツイベントや合宿などを催して、教員を含めたメンバー間の交流活動を実施したりもしています。大学生活をより実りのあるものにするためにも、ゼミを十分に活用してください。

### （５）第２部経営学科のクォーター制

大阪市内では数少なくなった夜間学科の第２部経営学科は、より実践的な教育資源を提供できる教育機関を目指して、クォーター制開講を導入しています。

それにより、第１部〈昼間部〉が主に春・秋学期に分かれる Semester 制で開講しているのに対し、第２部では年間を４分割し、より効率的に履修が可能となっています。

# 1 第1部経営学科・ビジネス法学科

## カリキュラムの概要

(この『履修のてびき』巻末の別表参照のこと)

卒業までの4年間に、皆さんには124単位分以上の授業科目を修得してもらいます。この124という数字は、皆さんにとって大変重要なものとなりますので忘れずにいて下さい。ただ、124単位といっても、124科目を受講することではありませんのでご心配なく。

皆さんの受ける授業科目は大別して、全学共通科目と学科専攻科目に分けられます。このうち、全学共通科目は、本学の学生が学部学科を問わず受講する科目を指します。一方、学科専攻科目は、経営学部所属の学生を対象とした、企業経営に関わる専門科目です。

全学共通科目は外国語科目と教養教育としての広域科目から構成されています。卒業必要単位数は外国語科目10単位と、広域科目14単位の合計24単位です。

一方、経営学や法律に関連する学科専攻科目を修得していくうえで注意すべき点は次の6つです。

(1) 学科専攻科目は、①学部基礎科目(10単位以上の修得が必要)と②学科専門科目(90単位以上の修得が必要)に分かれています。

①学部基礎科目には、経営、会計、情報処理、法律、そしてキャリアといったキーワードからなる9つの科目があります。経営学部に入学者のみなさんが、学科・コースを問わず、「企業経営」の一端に触れ専門課程での学習に際して様々な角度から企業の在り方について考えていけるように、各科目ともクラス単位の講義で基礎的かつ具体的な内容を提供します。これらの科目をしっかりと学んで、学科専門科目を修得するための基礎を固めてください。

②学科専門科目は、企業経営に関わる学科ごとの専門領域の学習を段階的に進めていくために、様々な専門科目が配置されている科目群です。各科目は、(A)区分(必修科目)、(B)区分(選択科目)、(C)区分(選択科目)、および(D)区分(演習科目)により構成されています。このうち、(B)区分はさらに3つのグループ—基幹科目・展開科目・融合科目—に分かれています。

③(A)区分(必修科目)は、各学科の中心課題—経営学科は企業経営、ビジネス法学科では民法、会社法—に関わる基礎科目です。12単位分の4科目全てを修得してください。(B)区分(選択科目)のうち、基幹科目は(A)区分の科目にとっても関連の強い、中心課題をより深く追及していくための科目です。これに対し展開科目は、経営学科には販売や金融など、ビジネス法学科には不動産法や公法など、企業経営を取り巻く周辺領域に関わる科目が配置されています。さらに、学問上の視野を広げる意味から融合科目として他学科(経営⇄ビジネス法)の関連科目がここに配置されています。

(2) (D)区分の主な科目は専門演習(ゼミナール)です。経営学部第1部のほぼ全員の学生が履修しています。各ゼミ担当教員のもとに最大20名の学生が集まり、それぞれのテーマに基づいた発表や報告、ディスカッションを通じた人間関係の形成を体験しながら、研究指導を受けるものです。4年次の卒業研究においては、大学で学んだことをまとめ上げ、その成果として卒業論文を作成します。専門演習は大学生生活と研究を実感できるもっとも充実した科目です。しっかり履修しましょう。

(3) 学科専門科目にはその他に特殊講義とインターンシップがあります。特殊講義は必要に応じ



て開講されるものです。経営学特殊講義、ビジネス特殊講義、法学特殊講義があり、経営学科では全て(C)区分科目に属します。一方、ビジネス法学科ではビジネス特殊講義、法学特殊講義が(B)区分科目として、経営学特殊講義が(C)区分科目としてそれぞれ扱われます。インターンシップは、会社に訪問してそこでの業務に携わることを授業に組み入れた科目です。企業の実際の経営活動や仕事に触れることができる有意義な科目です。

- (4) 経営学科生はビジネス法学科の(A)区分、(B)区分の学科専門科目を、反対にビジネス法学科生は経営学科の(A)区分、(B)区分の学科専門科目を履修することができます。ただし、これらの科目は(C)区分の修得単位としてカウントされます。
- (5) 学科専門科目は第2部経営学科の科目も含みます。第2部経営学科の科目には、第1部にはない実務、資格、職業などのジャンルを重視した実務的・実践的なカリキュラムが開講されています。第1部のみなさんも履修できますので、これらカリキュラムを履修することも検討されてはいかがでしょうか。
- (6) ビジネス法学科のカリキュラムには(D)区分科目として、演習科目のほかにディベート、ケース研究、模擬裁判、リーガルリサーチといった実習科目が配置されています。法律の現場を疑似体験することにより法を立体的に学び、机上の勉強だけでは理解しにくいところを補い、また、法律を実践的に使えるようになるための運用力を養成していきます。また演習科目(ゼミナール)の時間だけでは必ずしも十分に対応できない部分の補完的な役割をなしています。これらの実習科目を積極的に参加することにより法知識は確固としたものとなるでしょう。また、法曹界の現場を見学・体験する裁判傍聴やインターンシップもあり、視野を広げた勉強ができるような科目も組み込まれています。

## 履修方法について

第1部経営学科・ビジネス法学科のカリキュラムをどのように選んでいくのかを説明します。

### ●履修の考え方について

1. 全学共通科目では、全学共通科目にある外国語科目のうち「必修外国語科目」は8単位（1カ国語を選択する場合は8単位、2カ国語を選択する場合は外国語ごとに4単位）を修得しなければなりません。あわせて「選択外国語科目」から2単位修得しなければなりません。広域科目は14単位以上、そのうち①思想と文化の学部指定科目（哲学入門、心理学入門、倫理学入門、芸術学入門）、②歴史と社会の学部指定科目（歴史学入門、政治学入門、経済学入門、統計学入門、社会学入門）、③健康とスポーツ、④自然と生活、⑥キャリア形成科目の各分野から2単位以上を修得しなければなりません。（ただし、⑥キャリア形成科目は4単位を上限とし、学科専攻科目への振替もできません。）これらの科目は予備登録科目となることが多いため、計画的に1年次から履修するようにしてください。
2. 学部基礎科目は、1年次での履修が望ましい科目です。9科目18単位の中から、卒業のためには5科目10単位以上を修得しなければなりません。なお、10単位を超えて修得した単位は学科専門科目の(B)選択科目の単位に振り替えることができます。
3. 2年次秋学期からは専門演習(ゼミナール)が始まります。2年次春学期に自分の所属したい演習を選択し、応募します。専門演習は、担当教員の専門の違いのほかに運営上さまざまな特徴があります。学びたいことを見つけ出し、演習説明会（例年4月中旬に実施）に参加して希望する演習を決定し、演習募集に応募してください。



4. 全学共通科目も学科専攻科目も、履修できる年次が決まっています。各科目の配当年次に注意して、毎年学修していく科目を計画的に選んでください。また、配当年次以外に条件が付いている科目もありますから、時間割表や掲示板、KVCに十分注意してください。
5. 在学中は企業調査やインターンシップ（職業体験）、各種の資格取得講座、留学、海外実務研修などに参加することができます。また、大学院進学相談等もすることもできます。大切なことは自分のしたいこと、学びたいことをよく考え、計画をたて、実行することです。つまり、時間割を組むときでも学期ごとの科目だけを見て決めるのではなく、卒業後の進路を念頭において毎学期の時間割の計画をたてるようにしましょう。

### ●履修方法について

第1部経営学科・ビジネス法学科を卒業するためには、下表のように「全学共通科目」から24単位以上（「外国語科目」から10単位以上、「広域科目」から14単位以上）、「学科専攻科目」から100単位以上（「学部基礎科目」から10単位以上、「学科専門科目」から90単位以上）、合計124単位以上修得しなければなりません。

| 授業科目    |        | 卒業必要単位  |
|---------|--------|---------|
| 全学共通科目  | 外国語科目  | 10単位以上  |
|         | 広域科目   | 14単位以上  |
| 学科専攻科目  | 学部基礎科目 | 10単位以上  |
|         | 学科専門科目 | 90単位以上  |
| 卒業必要単位数 |        | 124単位以上 |

両学科の「学科専攻科目」の卒業必要単位数は、100単位以上で、その内訳は以上のとおりです。あわせて＜授業科目年次配当表＞の「学部基礎科目」、「学科専門科目」の(A)から(D)の科目区分ごとに履修方法の要点を説明します。

### 学科専攻科目の卒業必要単位

「学部基礎科目」、「学科専門科目」の(A)から(D)の科目区分ごとに定められた卒業必要単位数を満たすように、授業科目を修得していくことになります。「学科専攻科目」の授業科目には、半期4単位科目、半期2単位科目と通年4単位科目があります。

1. 半期4単位科目……1週間に2回授業が行われる半期完結科目です。
2. 半期2単位科目……1週間に1回授業が行われる半期完結科目です。
3. 通年4単位科目……1週間に1回授業が行われる通年完結科目です。

## ① 学部基礎科目

「学部基礎科目」は、経営学部共通の1年次配当科目です。科目一覧は次のとおりです。

| 授業科目        | 単位 | 配当年次 | 開講期 |     | 卒業必要単位 |
|-------------|----|------|-----|-----|--------|
| 現代経営入門Ⅰ     | 2  | 1    | 春学期 | 秋学期 | 10単位以上 |
| 現代経営入門Ⅱ     | 2  | 1    |     |     |        |
| 会計基礎論Ⅰ※     | 2  | 1    | 春学期 |     |        |
| 会計基礎論Ⅱ※     | 2  | 1    |     | 秋学期 |        |
| ビジネス法入門Ⅰ    | 2  | 1    | 春学期 |     |        |
| ビジネス法入門Ⅱ    | 2  | 1    |     | 秋学期 |        |
| 情報実習Ⅰ       | 2  | 1    | 春学期 |     |        |
| 情報実習Ⅱ       | 2  | 1    |     | 秋学期 |        |
| キャリア設計      | 2  | 1    | 春学期 | 秋学期 |        |
| 会計基礎論(中級)Ⅰ※ | 2  | 1    | 春学期 |     |        |
| 会計基礎論(中級)Ⅱ※ | 2  | 1    |     | 秋学期 |        |

(1) 「学部基礎科目」は、1年次に9科目すべてを履修することが望ましい科目です。「キャリア設計」を除く「学部基礎科目」は受講するクラスが指定されています。『時間割表』で確認してください。

(2) 卒業必要単位数は、「学部基礎科目」9科目のうち、5科目10単位以上を修得しなければなりません。1年次に修得できなかった場合は、2～4年次で修得してください。

注意1※ 全商簿記1級または日商簿記2級を取得している学生は、「会計基礎論Ⅰ・Ⅱ」に代わって、「会計基礎論(中級)Ⅰ・Ⅱ」を履修しなければなりません。

注意2※ 全商簿記1級または日商簿記2級を取得していない学生は、「会計基礎論(中級)Ⅰ・Ⅱ」ではなく、「会計基礎論Ⅰ・Ⅱ」を履修しなければなりません。

(3) 学部基礎科目の中で5科目10単位を超えて修得した単位は、学科専門科目の(B)選択科目の単位に振り替えることができます。

## 【情報処理科目】

- 「情報実習Ⅰ」・「情報実習Ⅱ」は、1年次配当の学部基礎科目です。1年次に履修することが基本です。これらの科目は履修クラスが指定されています。履修登録するときに、『時間割表』などでクラスを確認してから履修するようにしてください。
- なお、「経営情報実習Ⅰ」・「経営情報実習Ⅱ」は2～4年次配当の科目です。「経営情報実習Ⅱ」は、「経営情報実習Ⅰ」を修得しなければ履修することができません。これらの科目は履修登録前の予備登録が必要な科目であり、定員超過の場合は履修できない場合があります。

## ② 学科専門科目／(A) 必修科目

両学科の必修科目は、次のとおりです。( )は配当年次を示します。

| 第1部経営学科          | 単位数 | ビジネス法学科            | 単位数 | 卒業必修単位 |
|------------------|-----|--------------------|-----|--------|
| 経営学(2・3・4年次)     | 4単位 | 民法入門(1・2・3・4年次)    | 2単位 | 12単位   |
| 流通論(2・3・4年次)     | 4単位 | 会社法(2・3・4年次)       | 4単位 |        |
| 財務会計論入門(2・3・4年次) | 2単位 | 経営学(2・3・4年次)       | 4単位 |        |
| 利益会計論(2・3・4年次)   | 2単位 | コーポレートガバナンス(3・4年次) | 2単位 |        |
|                  |     |                    |     |        |

**【再履修について】**

必修科目が不合格となった場合は、必ず再履修して単位を修得しなければ卒業することはできません。

**③ 学科専門科目／(B) 選択科目**

「(B)選択科目」には、各学科の主要な科目が配置され、「基幹科目」、「展開科目」、「融合科目」の3つに分類されています。経営分野の基幹的位置づけである「基幹科目」を履修した後に「展開科目」へ、さらに「融合科目」へとすすめてください。そして、できるだけ低年次の科目（配当年次が2・3・4の場合は2年次）から先に履修することをおすすめします。

|          | 第1部経営学科                                       | ビジネス法学科                             | 卒業必要単位数 |
|----------|-----------------------------------------------|-------------------------------------|---------|
| (B) 選択科目 | 基幹科目<br>経営管理論、経営組織論、<br>経営戦略論、原価計算論 等         | 基幹科目<br>民法Ⅰ（総則）、民法Ⅱ（物権）、<br>知的財産法 等 | 44単位以上  |
|          | 展開科目<br>経営史、企業論、<br>ベンチャービジネス論、<br>リーダーシップ論 等 | 展開科目<br>憲法、行政法、不動産法、<br>国際取引法、税法 等  |         |
|          | 融合科目<br>民法入門、民法Ⅰ（総則）、<br>民法Ⅱ（物権） 等            | 融合科目<br>流通論、財務管理論、<br>ビジネスエシックス 等   |         |

(B) 選択科目の卒業必要単位を超えて修得した単位は、(C) 選択科目の単位に振り替えることができます。

**【特殊講義】**

特殊講義は、基本的な知識を学ぶ内容と、より専門的な企業経営に関する知識を学ぶ内容があり、必要に応じて開講されます。特殊講義には「経営学特殊講義」、「ビジネス特殊講義」、「法学特殊講義」があります。それぞれの科目は『時間割表』と『シラバス(Web)』で内容を確認のうえ、履修してください。

これらの科目はそれぞれ複数科目が開講されています。副科目名（サブタイトル名）が異なれば別科目とみなされますので、複数科目の修得が可能です。

**④ 学科専門科目／(C) 選択科目**

「(C)選択科目」には、経営系の科目や実務科目、資格取得のための科目、他学部が提供する科目、語学科目、キャリア科目、教養関連科目などが配置されています。学科専門外の分野である英語などの外国語や教養としての人文科学、自然科学および社会科学科目などを学ぶことは、将来、経営学部生にとって実りある社会生活、ならびにさまざまな社会現象を学問的に捉え、かつ広い視野に立ったものの見方を習得することが可能になります。

| (C) 選択科目 | 第1部経営学科                                                                                       | ビジネス法学科   | 卒業必要単位数 |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|---------|
|          | (a)インターンシップ、外国書講読、<br>各種特殊講義                                                                  | (a)経営系の科目 | 24単位以上  |
|          | (b)他学科(第1部経営学科、ビジネス法学科、第2部経営学科のうち、あなたの<br>属していない学科)の科目を含めることができる。ただし、別表に定め<br>る同種科目は重複履修できない。 |           |         |
|          | (c)全学共通科目【外国語科目・広域科目】の剰余の単位、および本学科に<br>配当されていない全学共通科目【オープン科目】の単位を最大8単位ま<br>で含めることができる。        |           |         |
|          | (d)教養関連科目                                                                                     |           |         |

- 第1部経営学科にはインターンシップ、特殊講義などが配置されています。  
※インターンシップは、履修最高単位数には含まずに履修することができます。ビジネス法学科では(D)演習科目に属しています。
- ビジネス法学科には経営系の科目が配置されています。就職活動や職業選択に役立つ科目が配置されていますので、できるだけ履修するようにしましょう。
- 他学科(第1部経営学科、ビジネス法学科、第2部経営学科のうち、あなたの属していない学科)の科目を履修することができます。ただし、別表に定める同種科目は重複履修することができません。
- 学部間で開放された科目(全学共通科目[オープン科目])を各学部が定めた配当年次に履修することができます。全学共通科目[外国語科目・広域科目]の剰余の単位とあわせて8単位まで卒業必要単位数に含めることができます。

## ⑤ 学科専門科目／(D) 演習科目(第1部経営学科)

### (D) 実習・演習科目(ビジネス法学科)

#### 【専門演習(ゼミナール)】

演習は、特定の教員の指導のもとに、学生のみなさんが自ら研究し、発表・討論する形式の少人数教育です。演習は、所属する学科の教員から選択します。演習は、2年次秋学期から「演習Ⅰ」(2単位)\*が始まり、3年次春学期の「演習Ⅱ」(2単位)と秋学期の「演習Ⅲ」(2単位)を通じ、4年次通年の「卒業研究」(4単位)まで2.5年の一貫した教育です。「卒業研究」では、大学4年間の集大成として卒業論文を作成します。

なお、ゼミ応募の参考のため、毎週1名の教員が1回ずつ自らの専門に関する講義をし、春・秋学期あわせて30人を知ることのできる「経営と法の融合Ⅰ・Ⅱ」を開講しています。ぜひ1年次に履修してください。自分にとって興味のある分野や教員を見つけ出すことができ、より大学生活を充実させることにつながります。

※「演習Ⅰ」(2単位)は、通常、週1回90分ですが、教員によっては「演習Ⅰ」と「特別演習」をセット(連続)で開講し、180分実施する場合があります。こうした教員を選んだ学生は、「演習Ⅰ」と「特別演習」をセットで履修する必要があります。

(D)「演習Ⅰ(2単位)」(+「特別演習(2単位)」)、「演習Ⅱ(2単位)」、「演習Ⅲ(2単位)」、「卒業研究(4単位)」は、すべて選択科目です。これらの科目はゼミナール(ゼミ)と呼ばれ、大学で一番記憶に残ることが多い内容の濃い科目です。2年次秋学期から2年半の間、学生のみなさんは所属した教員の指導のもとに、関心や興味のあるテーマに関する調査、分析、考察をおこないます。この科目は、1ゼミ最大20名の少人数制で開講され、指定された資料を講読して、様々な課題について討論や発表(プレゼンテーション)したり、場合によっては調査・研究をしたり、また現場

の見学をすることによって、実的な知識を得たり、文献から調査結果をまとめるなど、学生のみなさんが主体的に研究に取り組む科目です。

演習は、2年次秋学期に「演習Ⅰ」、3年次春学期に「演習Ⅱ」、3年次秋学期に「演習Ⅲ」および4年次の「卒業研究」から成り立っています。ただし、教員によっては「演習Ⅰ」と「特別演習」をセットで開講し、180分実施する場合があります。こうした教員を選んだ学生は、「演習Ⅰ」と「特別演習」をセットで履修する必要があります。

「卒業研究」では、1年をかけて研究成果を卒業論文としてまとめます。そのプロセスは容易ではありませんが、大学生活の締めくくりに相応しい貴重な経験となりますので履修することを強くおすすめします。頑張ってください。

### ◆演習科目履修の注意事項

- 就職活動の際に、ゼミで検討した研究テーマを記入、あるいは質問されることも多いので、演習科目は原則として履修してください。
- 2年次の4月中旬にゼミ説明会、5月頃に演習募集を行います。「シラバス」や演習説明会を参考にして希望するゼミに応募してください。所属決定は、応募書類、面接など選考のうえ決定します。
- 「演習Ⅰ」（＋「特別演習」）、「演習Ⅱ」、「演習Ⅲ」、「卒業研究」は、原則として同一の教員が担当します。ただし、事情により、各学期終了時（単位修得が条件）に他のゼミナールに異動することができます。（「卒業研究」は通年科目のため途中での変更はできません。）この場合、所属ゼミと異動先ゼミの双方の担当教員の了解のもと、教務部に「転籍届」を提出しなければなりません。また演習を途中でやめる場合には、担当教員との相談のもと、教務部に「辞退届」を提出しなければなりません。「辞退届」の受け付けは随時おこなっています。
- 先修制により「演習Ⅱ」、「演習Ⅲ」は、それぞれ「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」を履修し、かつ単位を修得しなければ履修できません。ただし、「卒業研究」は「演習Ⅰ～Ⅲ」の単位を未修得でも、担当教員の了解を得て、3年次終了時に「卒業研究履修届」を提出すれば履修することができます。
- 「卒業研究」は、「演習Ⅰ～Ⅲ」の単位未修得の場合でも履修することができます。ただし、担当教員の了解を得たうえでの履修となります。3年次終了時に『卒業研究履修届』を教務部に提出しなければなりません。
- 「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」、「演習Ⅲ」を履修しない場合、もしくは修得できない場合は、次のとおり学科専攻科目の選択科目（B）区分の科目で単位を代替しなければなりません。

|       |         |       |        |        |       |
|-------|---------|-------|--------|--------|-------|
| 「演習Ⅰ」 | 「＋特別演習」 | 「演習Ⅱ」 | 「演習Ⅲ」  | 「卒業研究」 | →12単位 |
| 「演習Ⅰ」 | 「演習Ⅱ」   | 「演習Ⅲ」 | 「卒業研究」 | →10単位  |       |
|       |         |       | 「卒業研究」 | →4単位   |       |



### 【注意！】

「卒業研究」を履修している場合には、卒業論文を提出しなければ他の科目で卒業必要単位数を満たしていても卒業できません。「卒業研究」を履修して卒業論文を提出しない場合は、**予め「卒業研究」の辞退手続き**をしておかないと代替科目の単位を修得していても「卒業不可」となります。前もってゼミ担当教員に相談してください。

**【実習科目】（ビジネス法学科）**

実習科目は、多人数の受講者を予定した科目ではないため、定員などの関係で履修が制限される場合があります。履修登録の際に「講義計画(シラバス)」や「時間割表」などで確認してください。法の使い方・使われ方を身につけるためにも、ゼミ同様になるべく多くの実習科目を履修してください。

※「第1部経営学科で(C)区分に配置されている「インターンシップ」は、ビジネス法学科ではこの(D)区分に属しています。両学科でこの科目の扱い方が違いますから、注意してください。

**セメスターごとの履修最高単位数に含まない科目**

《全学共通科目》 必修外国語科目の再履修

《学科専攻科目》 ①(A)必修科目の再履修、②インターンシップ

《必修科目以外》 ①語学研修、②大学コンソーシアム大阪単位互換科目、③関西外国語大学単位互換科目



## 2 スペシャリスト養成コース

経営学部では、「コンサルティングコース」と「税法会計コース」という2つのスペシャリスト養成コースを設けています。

### ①コンサルティングコース

### ②税法会計コース

#### 【コース定員】

両コースとも50名を上限とします。

#### 【コースの決定】

両コースとも収容定員数に余裕があれば、2年次から所属することもできます（詳細については、1年次秋学期にお知らせします）。

#### 【コースの変更について】

2年次秋学期より他方のコースへの変更、もしくはコースから脱退する（その場合は、レギュラーの学科生となります）ことができます。この場合は、学期始めの履修登録の際に教務部に申し出てください。ただし、選考することがあります。

## カリキュラムの概要

### 1. コンサルティングコース

コンサルティングコースは、企業内でコンサルティング能力が必要される営業、企画、商品開発、マーケティングなどの分野を担当するスタッフをはじめ、経営コンサルタント、中小企業診断士、社会保険労務士等の専門職および大学院経営学研究科をめざす学生のみなさんのために設けられています。コンサルティング（consulting）とは、業務または業種に関する専門知識を持ち、主に企業（もしくは行政など公的機関）に対して外部から客観的に現状業務を観察し、その問題点を分析し、さらにその対策案を示すことで企業の発展、成長を助ける業務をおこなうことです。近年では、企業内コンサルタントとして経営や会計、人事の専門性を活かした専門職、ビジネスパーソンが活躍しています。

コンサルティングコースは、アントレプレナー（起業家）や後継経営者の育成を一つの主眼としつつ、企業倒産の予防、企業の粉飾決算、インサイダー・株価操作などの不正取引などの不祥事の防止等を理論的・実践的に学びます。そのため、ビジネスにおけるコンプライアンス（法令遵守のマネジメント）のあり方も学ぶことになります。

コンサルティングコースがめざす人材育成のポイントは、以下の点です。

- （1）マネジメント能力と法的知識の両方を修得し、新時代に要求される人材の育成。
- （2）経営の企画・運営能力を修得し、事業創造と事業継承のスキルアップができる人材の育成。
- （3）経営学の科学的・統計的手法にくわえ、知的財産・企業再生の法的知識を修得し、企業環境変化への事業対応できる人材の育成。

また、「人間力」を構成する「ヒューマンスキル」として4年間で修得する主な能力は、ビジネスマナー、生活マナー、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、対人関係や交渉力、企画能力、問題発見・解決能力、実践マネジメント能力などが挙げられます。

このコースの特徴は、事業を創造しマネジメントするために必要な知識・能力・キャリアを修得

し、くわえてブランドや特許などの知的財産、日常取引における債権・債務、企業再生に関わる法的知識・能力とキャリアなどを修得することです。すなわち、企業コンサルティングに求められる**マネジメント能力と法的能力の両方を、少人数教育、双方向型授業、実践・実務型授業を通じて学びます。**

## 2. 税法会計コース

税法会計コースは、企業内で経理、会計、総務などを担当するスタッフをはじめ税理士、公認会計士等の専門職および大学院経営学研究科をめざす学生のみなさんのために設けられています。

企業活動や資金調達のグローバル化が進み、企業の公表する決算書も国際的な投資家の目にさらされることになっているビジネス社会において、企業情報開示のグローバル化が必要となっています。こうしたIR（Investor Relations）として公表される財務情報の基本となる会計基準の国際化が世界的に重要なテーマになっています。

こうした状況をみすえながら、企業の財務・税務に関するアドバイスや書類作成をしているのが公認会計士や税理士なのです。経営学部では、将来、特にこうした企業に対応する専門家としてめざしたいという学生のために「税法会計コース」があるのです。なお、このコースは、税理士や公認会計士をめざす方ばかりでなく、企業での経理、会計、総務などの専門職をめざす人も歓迎しております。

こうしたコースを修了した後に専門職として職を得ることも一つの方法ですが、他方で大阪経済大学大学院・経営学研究科に進むことももう一つの選択肢です。

### 履修方法について

スペシャリストコースを選択し卒業するためには、下表のように「全学共通科目」から24単位以上（「外国語科目」から10単位以上、「広域科目」から14単位以上）、「学科専攻科目」から100単位以上、合計124単位以上修得しなければなりません。

#### コンサルティングコース

| 授業科目    |        | 卒業必要単位  |
|---------|--------|---------|
| 全学共通科目  | 外国語科目  | 10単位以上  |
|         | 広域科目   | 14単位以上  |
| 学科専攻科目  | 学部基礎科目 | 12単位以上  |
|         | 学科専門科目 | 88単位以上  |
| 卒業必要単位数 |        | 124単位以上 |

#### 税法会計コース

| 授業科目    |        | 卒業必要単位  |
|---------|--------|---------|
| 全学共通科目  | 外国語科目  | 10単位以上  |
|         | 広域科目   | 14単位以上  |
| 学科専攻科目  | 学部基礎科目 | 10単位以上  |
|         | 学科専門科目 | 90単位以上  |
| 卒業必要単位数 |        | 124単位以上 |

## ① 学部基礎科目（コンサルティングコース）

「学部基礎科目」は、経営学部共通の1年次配当科目です。科目一覧は次のとおりです。

| 授業科目        | 単位 | 配当年次 | 開講期 |     | 卒業必要単位                         |  |
|-------------|----|------|-----|-----|--------------------------------|--|
| 現代経営入門Ⅰ     | 2  | 1    | 春学期 |     | 10単位                           |  |
| 現代経営入門Ⅱ     | 2  | 1    |     | 秋学期 |                                |  |
| ビジネス法入門Ⅰ    | 2  | 1    | 春学期 |     |                                |  |
| ビジネス法入門Ⅱ    | 2  | 1    |     | 秋学期 |                                |  |
| 情報実習Ⅰ       | 2  | 1    | 春学期 |     |                                |  |
| 情報実習Ⅱ       | 2  | 1    |     | 秋学期 | 12単位<br>超過単位分は(B)に振り替えることができる。 |  |
| 会計基礎論Ⅰ※     | 2  | 1    | 春学期 |     |                                |  |
| 会計基礎論Ⅱ※     | 2  | 1    |     | 秋学期 |                                |  |
| キャリア設計      | 2  | 1    | 春学期 | 秋学期 |                                |  |
| 会計基礎論(中級)Ⅰ※ | 2  | 1    | 春学期 |     |                                |  |
| 会計基礎論(中級)Ⅱ※ | 2  | 1    |     | 秋学期 |                                |  |

●学部基礎科目は、1年次に全科目履修することが望ましい科目です。「キャリア設計」を除く学部基礎科目は受講するクラスが指定されています。『時間割表』で確認のうえ、履修してください。

●現代経営入門Ⅰ・Ⅱ、ビジネス法入門Ⅰ・Ⅱ、情報実習Ⅰの5科目10単位は必修科目です。

1年次に修得できなかった場合は、必ず2～4年次で修得してください。

●卒業必要単位数は、学部基礎科目9科目のうち6科目12単位ですが、学部基礎科目は12単位以上履修修得することが望まれます。なお、学部基礎科目の中で6科目12単位を超えて修得した単位は、学科専門科目の(B)選択科目の単位に振り替えることができます。

※全商簿記1級または日商簿記2級以上を取得している学生は、「会計基礎論Ⅰ・Ⅱ」に代わって、「会計基礎論(中級)Ⅰ・Ⅱ」を履修しなければなりません。

## ② 学部基礎科目（税法会計コース）

| 授業科目        | 単位 | 配当年次 | 開講期 |     | 卒業必要単位                         |  |
|-------------|----|------|-----|-----|--------------------------------|--|
| 現代経営入門Ⅰ     | 2  | 1    | 春学期 |     | 10単位<br>超過単位分は(B)に振り替えることができる。 |  |
| 現代経営入門Ⅱ     | 2  | 1    |     | 秋学期 |                                |  |
| 会計基礎論Ⅰ※     | 2  | 1    | 春学期 |     |                                |  |
| 会計基礎論Ⅱ※     | 2  | 1    |     | 秋学期 |                                |  |
| ビジネス法入門Ⅰ    | 2  | 1    | 春学期 |     |                                |  |
| ビジネス法入門Ⅱ    | 2  | 1    |     | 秋学期 |                                |  |
| 情報実習Ⅰ       | 2  | 1    | 春学期 |     |                                |  |
| 情報実習Ⅱ       | 2  | 1    |     | 秋学期 |                                |  |
| キャリア設計      | 2  | 1    | 春学期 | 秋学期 |                                |  |
| 会計基礎論(中級)Ⅰ※ | 2  | 1    | 春学期 |     |                                |  |
| 会計基礎論(中級)Ⅱ※ | 2  | 1    |     | 秋学期 |                                |  |

●学部基礎科目は、1年次に9科目すべてを履修することが望ましい科目です。「キャリア設計」を除く学部基礎科目は受講するクラスが指定されています。『時間割表』で確認のうえ、履修してください。

- 卒業必要単位数は、学部基礎科目のうち、5科目10単位以上を修得しなければなりません。  
1年次に修得できなかった場合は、2～4年次で修得してください。  
※全商簿記1級または日商簿記2級以上を取得している学生は、「会計基礎論Ⅰ・Ⅱ」に代わって、「会計基礎論(中級)Ⅰ・Ⅱ」を履修しなければなりません。
- 学部基礎科目は10単位以上修得することが望まれます。なお、学部基礎科目の中で5科目10単位を超えて修得した単位は、学科専門科目の(B)選択科目の単位に振り替えることができます。

### 【情報処理科目】

- ・情報実習Ⅰ・情報実習Ⅱは、1年次配当の学部基礎科目です。1年次に履修するのが基本です。これらの科目は履修クラスが指定されています。履修登録するときに『時間割表』などでクラスを確認してから履修するようにしてください。
- ・なお、経営情報実習Ⅰ・経営情報実習Ⅱは、2～4年次配当の科目です。「経営情報実習Ⅱ」は、「経営情報実習Ⅰ」を修得しなければ履修することができません。これらの科目は履修登録前の予備登録が必要な科目であり、定員超過の場合は履修できないこともあります。

## ② 学科専門科目／(A) 必修科目

(A) 必修科目には、経営学部スペシャリスト養成コースの「コンサルティング」と「税法会計」2コースの必修科目が配置されています。( ) は配当年次と単位数を示します。

| 学科・コース名        | 経営学部スペシャリスト養成コース          |                          |
|----------------|---------------------------|--------------------------|
|                | コンサルティング                  | 税法会計                     |
| 学科・コース<br>必修科目 | コンサル基礎演習Ⅰ<br>(1年次・2単位)    | 民法入門<br>(1年次・2単位)        |
|                | コンサル基礎演習Ⅱ<br>(1年次・2単位)    | 財務会計論入門<br>(2年次・2単位)     |
|                | コンサル基礎演習Ⅲ<br>(2年次・2単位)    | 利益会計論<br>(2年次・2単位)       |
|                | マネジメントゲーム<br>(1年次・4単位)    | 税務会計論入門<br>(2年次・2単位)     |
|                | コーチング&メンタリング<br>(1年次・2単位) | 契約法<br>(2年次・4単位)         |
|                | 民法入門<br>(1年次・2単位)         | 会社法<br>(2年次・4単位)         |
|                | 経営学<br>(2年次・4単位)          | 税法<br>(3年次・4単位)          |
|                | 財務会計論入門<br>(2年次・2単位)      | 簿記システム論※<br>(2年次・2単位)    |
|                | 契約法<br>(2年次・4単位)          | 株式会社会計※<br>(2年次・2単位)     |
|                | 会社法<br>(2年次・4単位)          | 会計基礎論(上級)Ⅰ※<br>(2年次・2単位) |
|                |                           | 会計基礎論(上級)Ⅱ※<br>(2年次・2単位) |
|                |                           |                          |
|                |                           |                          |
| 卒業必要単位         | 28単位                      | 24単位                     |

税法会計コースのみ、次のような履修プログラムとなります。

※注1 **「会計基礎論(中級)Ⅰ・Ⅱ」を修得した学生**は、「簿記システム論」・「株式会社会計」の代わりに、「会計基礎論(上級)Ⅰ・Ⅱ」を履修しなければなりません。なお、「簿記システム論」・「株式会社会計」の履修はできません。

※注2 **「会計基礎論(中級)Ⅰ・Ⅱ」を修得していない学生**は、「簿記システム論」・「株式会社会計」を履修しなければなりません。なお、くわえて「会計基礎論(上級)Ⅰ・Ⅱ」を履修した場合は、学科専門科目／(B)選択科目として単位認定されます。



#### 【再履修について】

必修科目が不合格となった場合は、必ず再履修して単位を修得しなければ卒業することはできません。

### ③ 学科専門科目／(B) 選択科目

(B) 選択科目には、スペシャリスト養成コースの「コンサルティング」と「税法会計」2コースの主要な科目が配置されています。できるだけ低年次（配当年次が2・3・4の場合は2年次）に履修することをおすすめします。

| (B) 選択科目 | コースの主要な科目があります。<br>(B) 選択科目の卒業必要単位を超えて修得した単位は、(C) 選択科目の単位に振り替えることができます。他の学科またはコースの(B) 選択科目を修得した場合、(C) 選択科目の単位となります。 | 卒業必要単位数          |          |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|----------|
|          |                                                                                                                     | スペシャリスト<br>養成コース | コンサルティング |
|          |                                                                                                                     |                  | 32単位     |
|          |                                                                                                                     |                  | 税法会計     |
|          |                                                                                                                     |                  | 42単位     |

●インターンシップ（コンサルティングコース）は、2・3年次配当の科目です。

就職活動や職業選択にとっても役立つ科目なので、できるだけ履修するようにしましょう。2・3年次以外では履修することができません。

※この科目は、履修最高単位数に含まず履修することができます。

#### 【特殊講義】

特殊講義は、基本的な知識を学ぶ内容と、より専門的な企業経営に関する知識を学ぶ内容があり、必要に応じて開講されます。特殊講義には、**経営学特殊講義**、**ビジネス特殊講義**、**法学特殊講義**があります。それぞれの科目は『時間割表』と『シラバス(Web)』で内容を確認のうえ、履修してください。

これらの科目はそれぞれ複数科目が開講されています。副科目名（サブタイトル名）が異なれば別科目とみなされますので、複数科目の修得が可能です。

## ④ 学科専門科目／(C) 選択科目

(C) 選択科目には、所属コースにない科目や実務科目、資格取得のための科目、他学部が提供する科目、語学科目、キャリア科目などが配置されています。経営学科専門外の分野である英語などの外国語や、教養としての人文科学、自然科学、および社会科学などの科目を学ぶことによって、将来、経営学部生にとっても、実りある社会生活、ならびにさまざまな社会現象を捉え、広い視野に立ったものの見方ができるようになります。

|          |                                                                                          | コンサルティング<br>コース |      | 税法会計<br>コース |      |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|------|-------------|------|
| (C) 選択科目 | インターンシップ、各種特殊講義                                                                          | －               | 18単位 | (C-a)       | 14単位 |
|          | 所属する学科またはコースに配置されていない<br>経営学部第1部経営学科、ビジネス法学科、第2<br>部経営学科の科目、ただし、別表に定める同種科<br>目は重複履修できない。 | (C-a)           |      | (C-b)       |      |
|          | 全学共通科目 [外国語科目・広域科目] の剰余の<br>単位、および本学科に配当されていない全学共<br>通科目 [オープン科目] の単位<br>8 単位まで含めることが可能  | (C-b)           |      | (C-c)       |      |

●「インターンシップ」は2・3年次配当の科目です。就職活動や職業選択に役立つ科目なので、できるだけ履修するようにしましょう。2・3年次以外では履修することができません。※この科目は履修最高単位数には含まずに履修することができます。

●学部間で開放された科目（全学共通科目 [オープン科目]）を各学部が定めた配当年次に履修することができます。全学共通科目 [外国語科目・広域科目] の剰余の単位とあわせて8単位まで卒業必要単位数に含めることができます。

## ⑤ 学科専門科目／(D) 演習科目

## 【専門演習（ゼミナール）】

演習は特定の教員の指導のもとに、みなさんが自ら研究し、発表・討論する形式の少人数教育です。

演習は2年次秋学期から「演習Ⅰ」※（2単位）が始まり、3年次春学期の「演習Ⅱ」（2単位）と秋学期の「演習Ⅲ」（2単位）を通じ、4年次通年の「卒業研究」（4単位）まで2.5年の一貫した教育です。「卒業研究」では、大学4年間の集大成として卒業論文を作成します。

※「演習Ⅰ」（2単位）は、通常、週1回90分ですが、教員によっては「**演習Ⅰ**」と「**特別演習**」をセット（連続）で開講し、180分実施する場合があります。こうした教員を選んだ学生は、「演習Ⅰ」と「特別演習」をセットで履修する必要があります。

「演習Ⅰ」（＋「特別演習」）、「演習Ⅱ」、「演習Ⅲ」、「卒業研究」は選択科目です。必ずしも卒業に必要な科目ではありませんが、これらの科目はゼミナール（ゼミ）と呼ばれ、大学で一番記憶に残ることが多い内容の濃い科目です。2年次秋学期から2年半の間、みなさんは所属した教員の指導のもとに、専門分野の特定のテーマにしたがって学びます。

この科目は、1ゼミ最大20名の少人数制で開講され、指定された資料を講読して、様々な課題について討論や発表（プレゼンテーション）したり、場合によっては調査・研究をしたり、また現場の見学をすることによって、実地的な知識を得たり、文献から調査結果をまとめるなど、学生のみなさんが主体的に研究に取り組む科目であります。



2年次秋学期に「演習Ⅰ」、3年次春学期に「演習Ⅱ」、3年次秋学期に「演習Ⅲ」および4年次の「卒業研究」から成り立っています。ただし、**教員によっては「演習Ⅰ」と「特別演習」をセット（連続）で開講し、180分実施する場合があります。**こうした教員を選んだ学生は、「演習Ⅰ」と「特別演習」をセットで履修する必要があります。

「卒業研究」では、1年をかけて研究成果を卒業論文としてまとめます。そのプロセスは容易ではありませんが、大学生活の締めくくりに相応しい貴重な経験となりますので履修することを強くおすすめします。頑張ってください。

- 2年次の5月頃に演習募集を行います。シラバスや演習説明会を参考にして希望するゼミに応募してください。定員を超える場合は選考のうえ決定されます。
- 「演習Ⅰ」（＋「特別演習」）、「演習Ⅱ」、「演習Ⅲ」、「卒業研究」は、原則、同一の教員が担当します。ただし、各学期終了時（単位修得が条件）にのみ他のゼミナールに異動することができます。（「卒業研究」は通年科目のため途中での変更はできません。）この場合、所属ゼミと異動先ゼミの双方の教員の了解のもと、教務部に「転籍届」を提出しなければなりません。また演習を途中でやめる場合には、教員との相談のもと、教務部に「辞退届」を提出しなければなりません。「辞退届」の受け付けは随時おこなっています。
- 先修制により「演習Ⅱ」、「演習Ⅲ」はそれぞれ「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」を履修し、かつ単位を修得しなければ履修できません。
- 「卒業研究」は、「演習Ⅰ～Ⅲ」の単位未修得の場合でも履修することができます。ただし、担当教員の了解を得たうえでの履修となります。3年次終了時に『卒業研究履修届』を教務部に提出しなければなりません。
- 「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」、「演習Ⅲ」を履修しない場合、もしくは修得できない場合は、次のとおり学科専攻科目の選択科目（B）区分の科目で単位を代替しなければなりません。

|       |         |       |       |        |       |
|-------|---------|-------|-------|--------|-------|
| 「演習Ⅰ」 | 「＋特別演習」 | 「演習Ⅱ」 | 「演習Ⅲ」 | 「卒業研究」 | →12単位 |
| 「演習Ⅰ」 |         | 「演習Ⅱ」 | 「演習Ⅲ」 | 「卒業研究」 | →10単位 |
|       |         |       |       | 「卒業研究」 | →4単位  |



### 【注意！】

「卒業研究」を履修している場合には、卒業論文を提出しなければ他の科目で卒業必要単位数を満たしていても卒業できません。「卒業研究」を履修して卒業論文を提出しない場合は、**予め「卒業研究」の辞退手続き**をしておかないと代替科目の単位を修得していても卒業不可となります。

前もってゼミ担当教員に相談してください。

## セメスターごとの履修最高単位数に含まない科目

《全学共通科目》必修外国語科目の再履修

《学科専攻科目》①（A）必修科目の再履修、②学部基礎科目の再履修（※）、③インターンシップ  
（※）コンサルティングコースの必修科目のみ

《必修科目以外》①語学研修、②大学コンソーシアム大阪単位互換科目、③関西外国語大学単位互換科目

# 履 修 モ デ ル

経営学科、ビジネス法学科、スペシャリスト養成コース（コンサルティングコース、税法会計コース）

## 「履修プログラム」の推奨目的

既に数年前より、日本の企業社会を取り巻く新たな諸課題として、過労死、非正規社員の増大、サービス残業、少子高齢化、国際競争力の相対的低下、環境破壊・ICT利用の詐欺、株価・地価等の更なる下落、地方財政の破綻、ニートの増大、個人情報漏洩といったものも指摘されてきています。また、それらを要因とする諸々の企業犯罪も多く発生しています。

むろん、これからみなさんとともに学ぶ経営学部の一科目は、これらの課題に対応した実践的解決をおこなおうとしています。そこでは、各学科で学ぶ学類別の授業が基礎となります。さらに、今後みなさんが避けては通れない就職への取り組みという観点も必要とされるでしょう。そのため、「進路別履修モデル」の履修で養われる業界別の観点、業界別の事業動向の把握、さらにその分野に進むうえで自身が取り組む研究も進められるべきでしょう。

経営学部には、6つの進路別履修モデルがあります。この履修モデルは、卒業要件とは関係ありませんが、みなさんが卒業後に就く業界や仕事に合わせて設計されたものです。

- ①「製造業」履修モデル 製造業分野をめざすモデルです。
- ②「流通業」履修モデル 流通業分野をめざすモデルです。
- ③「金融業」履修モデル 金融業分野をめざすモデルです。
- ④「不動産業」履修モデル 不動産業分野をめざすモデルです。
- ⑤「サービス業」履修モデル サービス業分野をめざすモデルです。
- ⑥「公務員」履修モデル 公務員関係分野をめざすモデルです。

## 進路別履修モデル

### ①「製造業」履修モデル 製造業分野をめざすモデルです。

| プログラムの趣旨                                                                                                                             | 科 目                 | 単 位 | 配当年次    | 総単位数 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|-----|---------|------|
| 製造業関係<br>(メーカー・部品製造・ものづくり、等) の業種に進むことを希望する学生を対象<br><br><代表的な製造業の職種><br>・自動車<br>・家電<br>・食品<br>・医薬品<br>・化学<br>・機械<br>・電気<br>・輸送機器<br>等 | サプライチェーンマネジメント論     | 4   | 3・4     | 52   |
|                                                                                                                                      | 経営統計                | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                      | 中小企業論               | 4   | 3・4     |      |
|                                                                                                                                      | リスクマネジメント           | 2   | 3・4     |      |
|                                                                                                                                      | 人事労務管理論Ⅰ            | 2   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                      | 人事労務管理論Ⅱ            | 2   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                      | 経営戦略論               | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                      | 経営組織論               | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                      | 経営管理論               | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                      | 競争戦略論               | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                      | 原価計算論               | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                      | 管理会計論               | 4   | 3・4     |      |
|                                                                                                                                      | 知的財産法               | 4   | 3・4     |      |
|                                                                                                                                      | 中小企業法               | 2   | 3・4     |      |
|                                                                                                                                      | インターンシップ<br>(製造業関連) | 2   | 2・3     |      |
|                                                                                                                                      | キャリアサポート特殊講義        | 2   | 1・2・3・4 |      |

### ②「流通業」履修モデル 流通業分野をめざすモデルです。

| プログラムの趣旨                                                                                                                             | 科 目                | 単 位 | 配当年次    | 総単位数 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|-----|---------|------|
| 流通関係<br>(小売・卸売・物流・サービス関連等) の業種に進むことを希望する学生を対象<br><br><代表的な流通業の職種><br>・小売業<br>・卸売業<br>・物流業<br>・倉庫業<br>・通販業<br>・各サービス業<br>・情報サービス<br>等 | 流通論                | 4   | 2・3・4   | 62   |
|                                                                                                                                      | 経営戦略論              | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                      | 経営組織論              | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                      | 経営管理論              | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                      | 競争戦略論              | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                      | 契約法                | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                      | 企業取引法              | 2   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                      | 財務管理論              | 4   | 3・4     |      |
|                                                                                                                                      | 産業心理学              | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                      | 販売管理特論初級           | 2   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                      | 販売管理特論中級Ⅰ          | 2   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                      | 販売管理特論中級Ⅱ          | 2   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                      | マーケティング論           | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                      | マーケティングリサーチ        | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                      | 流通政策論              | 4   | 3・4     |      |
|                                                                                                                                      | 経済法                | 4   | 3・4     |      |
|                                                                                                                                      | 国際取引法              | 2   | 3・4     |      |
|                                                                                                                                      | インターンシップ<br>(流通業界) | 2   | 2・3     |      |
|                                                                                                                                      | キャリアサポート特殊講義       | 2   | 1・2・3・4 |      |

## ③「金融業」履修モデル 金融業分野をめざすモデルです。

| プログラムの趣旨                                                                                                                                               | 科 目             | 単 位 | 配当年次    | 総単位数 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-----|---------|------|
| 金融関係<br>(銀行・信金・生保・損保・証券・信販、VC、等)の業種に進むことを希望する学生を対象<br><br><代表的な金融業の職種><br>・銀行<br>・信用金庫<br>・生命保険会社<br>・損害保険会社<br>・証券会社<br>・信販会社<br>・VC(ベンチャーキャピタル)<br>等 | 経営統計            | 4   | 2・3・4   | 44   |
|                                                                                                                                                        | 企業分析            | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                                        | 会社法             | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                                        | 有価証券法           | 2   | 3・4     |      |
|                                                                                                                                                        | 財務会計論入門         | 2   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                                        | 利益会計論           | 2   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                                        | 金融取引法           | 2   | 3・4     |      |
|                                                                                                                                                        | 金融商品取引法         | 2   | 3・4     |      |
|                                                                                                                                                        | 金融担保法           | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                                        | 投資戦略論〔株式編〕      | 2   | 3・4     |      |
|                                                                                                                                                        | 投資戦略論〔派生商品編〕    | 2   | 3・4     |      |
|                                                                                                                                                        | リスクマネジメント       | 2   | 3・4     |      |
|                                                                                                                                                        | 国際会計論           | 4   | 3・4     |      |
|                                                                                                                                                        | 金融ビジネス論         | 4   | 3・4     |      |
|                                                                                                                                                        | インターンシップ(金融業関連) | 2   | 2・3     |      |
|                                                                                                                                                        | キャリアサポート特殊講義    | 2   | 1・2・3・4 |      |

## ④「不動産業」履修モデル 不動産業分野をめざすモデルです。

| プログラムの趣旨                                           | 科 目             | 単 位 | 配当年次    | 総単位数 |
|----------------------------------------------------|-----------------|-----|---------|------|
| 不動産関係<br>(不動産・不動産鑑定士・信託銀行・建設、等)の業種に進むことを希望する学生を対象。 | 契約法             | 4   | 2・3・4   | 40   |
|                                                    | 会社法             | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                    | 不動産法            | 2   | 3・4     |      |
|                                                    | 財務管理論           | 4   | 3・4     |      |
|                                                    | 行政法             | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                    | 消費者法            | 2   | 3・4     |      |
|                                                    | マーケティング論        | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                    | マーケティングリサーチ     | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                    | 借地借家法           | 2   | 3・4     |      |
|                                                    | 登記法             | 2   | 3・4     |      |
|                                                    | 金融商品取引法         | 2   | 3・4     |      |
|                                                    | ビジネスエシックス       | 2   | 3・4     |      |
|                                                    | インターンシップ(不動産関連) |     | 2・3     |      |
|                                                    | 民法Ⅰ(総則)         | 2   | 1・2・3・4 |      |
|                                                    | キャリアサポート特殊講義    | 2   | 1・2・3・4 |      |

⑤「サービス業」履修モデル サービス業分野をめざすモデルです。

| プログラムの趣旨                                                                                                                                          | 科 目            | 単 位 | 配当年次    | 総単位数 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-----|---------|------|
| サービス業全般<br>(コンサルタント、情報技術・IT、食品、健康等の多岐にわたるサービス関連)に進むことを希望する学生を対象<br><br><代表的なサービス業の職種><br>・コンサルタント<br>・士業<br>・人材関連<br>・IT関連<br>・食品<br>・健康<br><br>等 | ビジネスコミュニケーション  | 2   | 2・3・4   | 60   |
|                                                                                                                                                   | ビジネスプレゼンテーションⅠ | 2   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                                   | ビジネスプレゼンテーションⅡ | 2   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                                   | 販売管理特論中級Ⅰ      | 2   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                                   | 販売管理特論中級Ⅱ      | 2   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                                   | 店舗・販売管理        | 2   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                                   | 財務会計論入門        | 2   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                                   | 産業心理学          | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                                   | マーケティング論       | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                                   | マーケティングリサーチ    | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                                   | 実践マーケティングⅠ     | 2   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                                   | 実践マーケティングⅡ     | 2   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                                   | 経営戦略論          | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                                   | 企業分析           | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                                   | ベンチャービジネス論     | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                                   | 競争戦略論          | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                                   | 民法Ⅲ（債権）        | 4   | 3・4     |      |
|                                                                                                                                                   | 消費者法           | 2   | 3・4     |      |
|                                                                                                                                                   | 知的財産法          | 4   | 3・4     |      |
|                                                                                                                                                   | リーダーシップ論       | 2   | 2・3・4   |      |
|                                                                                                                                                   | キャリアサポート特殊講義   | 2   | 1・2・3・4 |      |

⑥「公務員」履修モデル 公務員関係分野をめざすモデルです。

| プログラムの趣旨                                                          | 科 目                          | 単 位 | 配当年次    | 総単位数 |
|-------------------------------------------------------------------|------------------------------|-----|---------|------|
| 公務員関係<br>(国家公務員・地方公務員・第三セクター職員・NPO職員・その他団体職員、等)の業種に進むことを希望する学生を対象 | 経営管理論                        | 4   | 2・3・4   | 48   |
|                                                                   | 経営統計                         | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                                   | 契約法                          | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                                   | 雇用関係法                        | 4   | 3・4     |      |
|                                                                   | 財務会計論入門                      | 2   | 2・3・4   |      |
|                                                                   | 人事労務管理論Ⅰ                     | 2   | 2・3・4   |      |
|                                                                   | 人事労務管理論Ⅱ                     | 2   | 2・3・4   |      |
|                                                                   | 憲法                           | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                                   | リスクマネジメント                    | 2   | 3・4     |      |
|                                                                   | 行政法                          | 4   | 2・3・4   |      |
|                                                                   | 公会計論                         | 4   | 3・4     |      |
|                                                                   | 経済刑法                         | 2   | 3・4     |      |
|                                                                   | 不法行為法                        | 2   | 3・4     |      |
|                                                                   | インターンシップ<br>(公的機関・NPO関連・その他) | 2   | 2・3     |      |
|                                                                   | 民法入門                         | 2   | 1・2・3・4 |      |
|                                                                   | 民法Ⅰ（総則）                      | 2   | 1・2・3・4 |      |
|                                                                   | キャリアサポート特殊講義                 | 2   | 1・2・3・4 |      |

## 4 第2部経営学科

### カリキュラムの概要

#### 第2部経営学科へようこそ

第2部経営学科では、平日は18時に開講し、仕事やアルバイトなど、それぞれも活動と勉学を両立させられる学習環境を提供しています。また、社会人として実務経験を積んでいる人たちにとって再学習（リカレント）の場としても活用されています。

#### 1. 第2部経営学科の理念

- 1) 第2部経営学科のカリキュラムには、第1部よりも実践度の高い授業科目を多く配置して、第2部経営学科として独自性の高いものとなっています。そしてまた、履修制度はすべての科目を「選択制」とし、かつ自分の学びたい科目を学びたい順序で学べるような仕組みになっています。『受講したい科目を、受講したいときに受講できる』という第2部経営学科の理念を実現する制度となっています。
- 2) 昼間部における教養科目と専門科目という学習の枠組みから、教養科目と専門科目を含みながらも「実践」、「実務」、「職業」、「資格」といったコンセプトを実現するためのカリキュラムを少人数教育で用意しています。
- 3) 全学共通科目の外国語科目・広域科目、経営学部第1部経営学科、ビジネス法学科の科目を合わせて60単位まで卒業に必要な単位に含めることができます。ただし、別表に定める同種科目は履修できません。
- 4) 第2部経営学科は、クォーター制(4学期制)を導入しています。「春学期」「秋学期」の授業期間をさらに前半・後半の2つの期間に分け、「春学期Ⅰ・Ⅱ」「秋学期Ⅰ・Ⅱ」として授業を実施しています。集中的に学ぶことによる教育効果をはかるとともに、皆さんの4年間16学期の段階的、計画的履修を可能にします。既にクォーター制をとる北浜教室（北浜キャンパス）の授業も併用可能になっています。
- 5) 様々な職業経験をもつ学生を念頭に「社会人ゼミ」を開き、経営やビジネス法の理論と実務を演習し教育の充実を図ります。

#### 2. 目標に応じたカリキュラムの特徴

6／7時限のカリキュラムをベースに、1年間毎を単位としてみなさんの学習計画を作り上げましょう。第2部に配当される授業は、1日に1つずつの受講となります。6／7時限の連続授業からです。仕事やアルバイトと時間調整をすることで1時限から5時限までの科目も計画的に履修しましょう。みなさんの目標に応じて、教養から専門、実践、実務、職業、資格といったさまざまな分野につながる科目を履修することができます。

本学科では次のようなみなさんを応援しています。

- 1) 経営学・ビジネス法を学びたい人へ  
経営学もビジネス法もとても広くて深い学問の分野です。まずは何を学びたいのかを見極めることが出発点です。第1部経営学科の科目を参考にして履修する科目を選択してください。
- 2) レベルの高い学問がしたいという人へ  
経営学やビジネス法の全体を念頭におき、科目の先修条件も考慮して、履修する科目を選びましょう。クラスアドバイザーに相談するのも一つの手です。



3) より多くの資格を取りたい人へ

第2部経営学科の代表的な形です。資格取得のためには、豊富なカリキュラムから時間割表や講義計画(シラバス)を参考にして、資格に必要な科目を選択してください。資格取得目標に応じて、学びの履歴を作ることが大切です。

4) 職業能力の形成をめざす人へ

従来の経営学とビジネス法に加え、サービス産業の後押し、育成に向けた「サービスマネジメントコース科目」を設けています。

5) 起業と家業の後継者をめざす人へ

マネジメントゲームやビジネスプランニング、そしてインターンシップなどの実践的科目を中心に履修してみましょう。そして、経営に必要なマーケティング論、中小企業論、人事労務管理論、産業心理学などの科目も学びましょう。

6) 大学院に進学したい人へ

進学を希望する大学院専攻科の分野の科目を中心に、受験に必要な科目は経営学部第1部に開講される科目も視野に入れて、外国語科目なども履修するようにしましょう。

7) 留学したい人へ

第2部経営学科で開講する外国語科目は皆さんにとって必ずしも十分ではありません。外国語の基礎あるいは基本事項に重点を置いています。留学を考えているみなさんは、第1部経営学科や他学部の科目、あるいは進路支援センターの講座を利用するようにしてください。

8) 広く経営・経済と教養を学びたい人へ

第2部経営学科生は、全学共通科目の外国語科目・広域科目、第1部経営学科の科目を60単位まで卒業単位に含めることができます。これらの科目を履修すれば総合的に人文科学系・社会科学系の科目を学ぶことができます。その中に自分の学びの核を見出しましょう。

9) なんとなく学んでみたい人へ

メニュー(科目)が多すぎてどれを注文(履修)すればいいのか、わからないと悩む学生もいるでしょう。卒業に必要な単位の取り方は自由ですが、何らかの成果目標を持ち、どの科目を学ぶことが自分の将来にとって役立つのかを考えてください。

なお、何も考えずに大学4年間を過ごすと、何のために大学に来たのかがわからないまま卒業することになってしまいます。「クラスアドバイザー」に相談するののも一つの手です。

## 履修方法について

### 1. 6つの科目群について

#### ①学科基礎科目

学科基礎科目は、「経営・法学の基礎を学ぶ」、「さまざまな市民としての基礎能力の読み書きを学ぶ」、そして「自分と自分の将来を考える」科目群です。最初に学ぶべき基礎的な科目を配置していますので、1年次は学科基礎科目を中心に学ぶことをおすすめします。学びの動機を形成します。

経営学入門、リテラシー（言語系・情報系などの）科目、会計基礎論、キャリアデザインなどの科目からなります。

#### ②学科基幹科目

「経営学」と「ビジネス法」の基礎を理解するには、学科基幹科目をじっくり学ぶことをお勧めします。これらの科目は、経営学とビジネス法の入口であり、学ぶにつれて、会社と企業社会が少しずつわかるようになります。ビジネス理論の基礎を学ぼうという方は、ここからはじめてみましょう。

経営学、企業論、中小企業論、経営管理論、経営組織論、商業簿記、民法総論、契約法、会社法などの科目からなります。

#### ③経営コース科目

経営コース科目は、経営学の素養を前提とした「経営の理論と実務」を学ぶ科目です。経営学の専門を学ぶこと、自ら事業を起こすことや家業を継ぐことに関心のある人はここが主戦場です。

経営戦略論、国際経営論、流通システム論、国際会計論、ビジネスプランニング、ベンチャービジネス論などの科目からなります。

#### ④ビジネス法コース科目

ビジネス法コース科目の担当者は、教員以外にも弁護士、不動産鑑定士、企業の法務専門家などが担当する実践的科目群です。法と制度がますます身近に、また大切になりつつあるビジネス社会に対応した科目で、複雑さを増す企業社会の仕組みと構造を基本から身につけましょう。

行政法、不動産法、企業取引法、経済法、雇用関係法、税法、中小企業法や知的財産法などの多様なビジネス法分野の専門科目からなっています。

#### ⑤サービスマネジメントコース科目

サービス産業の現場を統括できる人材、ないしはそこを管理できる人材を育成することを目標に、科目を配したのがサービスマネジメントコース科目です。主に飲食業、宿泊業を念頭に置いた科目を中心に、広くサービスビジネスパーソンをサポートします。

フードサービス論、ホテルマネジメント論、ツーリズム論といった各分野の関連科目や、OA関連、販売士検定試験対策などの資格対策の講義も含まれます。

#### ⑥キャリアサポート科目

キャリアサポート科目は、各種の資格取得と「職業」を支援する科目です。また、大学教育と資格そして職業をつなぐ科目群でもあります。通常授業のほかに実践型、集中授業型など多様な開講形式を採用しています。その他、タイムリーにキャリアサポート特殊講義も組まれています。

## 2. 科目履修の仕方と特徴

- 1) 第2部経営学科は、必修科目はなく、すべての科目が選択科目です。
- 2) 第2部経営学科のすべての科目は、2単位です。卒業に必要な単位数は124単位です。
- 3) 第2部経営学科のすべての科目の配当年次は、1～4年次です。いずれの年次でもどの科目からでも履修が可能です。
- 4) 先修条件のある科目があります。履修の順序は理解度に応じて考えてください（先修条件科目一覧表を参照のこと）。
- 5) 履修することができる授業は、月曜から金曜の6／7時限目と土曜の4／5、6／7時限目です。ただし、第1部経営学科とビジネス法学科の科目を履修する場合はこの限りではありません。
- 6) 1～2週間の集中講義を夏期休暇中に実施することがあります。
- 7) 一部の科目で予備登録・受講制限があります。
- 8) 全学共通科目の外国語科目・広域科目、第1部経営学科とビジネス法学科の科目を履修することができます。（合計60単位まで履修することができます。）
- 9) 第2部経営学科に設定されている科目以外の科目を履修する場合は、それぞれの学科が定めた配当年次でしか履修することができません。
- 10) 授業アンケートは毎学期実施します。
- 11) 受講生が少ない場合、不開講となることもあります。

### <第2部経営学科 先修条件科目一覧表>

| 科目名       | 先修しておく科目         | 先修が望ましい科目   |
|-----------|------------------|-------------|
| 経営統計Ⅰ     | 情報リテラシー（基礎）、（応用） |             |
| 経営統計Ⅱ     | 経営統計Ⅰ            |             |
| 商業簿記Ⅰ     | 会計基礎論Ⅰ、会計基礎論Ⅱ    |             |
| 商業簿記Ⅱ     | 会計基礎論Ⅰ、会計基礎論Ⅱ    |             |
| 国際会計論Ⅰ    | 会計基礎論Ⅰ、会計基礎論Ⅱ    |             |
| 国際会計論Ⅱ    | 会計基礎論Ⅰ、会計基礎論Ⅱ    |             |
| その他「Ⅱ」の科目 |                  | 同一名称の「Ⅰ」の科目 |

#### 【特殊講義】

特殊講義は、基本的な知識を学ぶ内容と、より専門的な企業経営に関する知識を学ぶ内容があり、必要に応じて開講されます。特殊講義には、**ビジネス特殊講義**、**法学特殊講義**、**キャリアサポート特殊講義**があります。それぞれの科目は『時間割表』と『シラバス(Web)』で内容を確認のうえ、履修してください。

これらの科目はそれぞれ複数科目が開講されています。副科目名（サブタイトル名）が異なれば別科目とみなされますので、複数科目の修得が可能です。

### 3. 履修登録上の注意点

- ①自分の学習の課題と目標を設定しましょう。
- ②2年間程度の具体的な学習計画を立て、履修科目を決定しましょう。
- ③シラバスを参考にそれぞれの科目を十分に吟味し、学ぶ意思のある科目を選択します。
- ④初学者は、はじめから無理に専門的な科目や上級な科目を履修しないようにしましょう。その場合は、まず学科基礎科目や学科基幹科目から履修していきましょう。
- ⑤クォーターごとに自分の習得レベルや理解度を反省し、履修登録の都度これを反映させるようにしましょう。
- ⑥常日頃この『履修のてびき』をそばに置き、学習状況をチェックするようにしましょう。
- ⑦履修登録は大学で行い、履修確認画面は印刷して必ず確認してください。
- ⑧その他履修登録の諸規則やスケジュールを厳守してください。不明な点や疑問点は必ず教務部でたずねましょう。

### 4. 授業実施上の留意点と評価点

それぞれの授業担当者は、各自の教育理念に基づき独自の教育を実践しますが、経営学部では授業担当者に次のような点を留意するようお願いしています。受講生のみなさんにも無関係ではありませんので、そうした留意点を認識し、権利と責任を明確にし、効果的な学習に役立ててください。

#### ①双方向の授業と指導

授業は、授業担当者・教員と受講生・学生の双方向性と相互の厳しさを基本に行われます。1クラスはその多くが100名より大幅に少ない受講人数でおこなっています。授業では、出席重視、積極的な発言（意見や質問）を含む授業参加などの双方向性を求めます。教員側も遅刻・早退を極力避けるようにしながら授業を行います。健康上の理由、忌引き、その他事故などを除き、私用による休講は原則として認めないという方針です。

#### ②丁寧で詳細なシラバス

学習に役立つ講義計画（シラバス）がWebで提供されています。授業を効果的に進め、より大きな学習成果を上げることができるよう、授業に関し可能な限りの詳細を提供します。シラバス自体が重要な指示書となるので、学習の指定図書、副読本として利用してください。また授業内容は可能な限り現実を反映した実務的な要素を踏まえることが求められます。教員によっては教材をWebを通じて提供することもあります。（例えば『教材用フォルダ』）

#### ③ネットを有効に活用

授業や指導では、学内ネットワークを積極的に利用します。受講生・学生への質問の回答、指示・指導、レジュメや資料、参考文献の提供や提示など、学内ネットワークを積極的に利用します。学内ネットワークを利用できるように研鑽に励んでください。教員によってはオフィスアワーを事前に決めている場合がありますので、積極的に質問や相談をしに行きましょう。

#### ④授業アンケートの実施

すべての授業でアンケートを実施します。集計結果は受講生のみならず担当講師にも提供されます。欠席不良のほかアンケートに答える必要な要件を満たさない学生は、アンケートへの参加は遠慮してください。また責任ある意見と意思を提供してください。アンケート以外にも科目担当者や教務部が意見を受け付けます。

経営学部 履修系統図【第1部経営学科】

全学共通科目【外国語科目・広域科目】

| 学部基礎科目   | 全学共通科目【外国語科目・広域科目】  |         |         |         |         |         |         |         |         |         |
|----------|---------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
|          | 現代経営学入門             | 現代経営学入門 | 現代経営学入門 | 現代経営学入門 | 現代経営学入門 | 現代経営学入門 | 現代経営学入門 | 現代経営学入門 | 現代経営学入門 | 現代経営学入門 |
| (A) 必修科目 | 経営学部 履修系統図【第1部経営学科】 |         |         |         |         |         |         |         |         |         |
|          | 経営学                 | 経営学     | 経営学     | 経営学     | 経営学     | 経営学     | 経営学     | 経営学     | 経営学     | 経営学     |
| (B) 選択科目 | 経営学部 履修系統図【第1部経営学科】 |         |         |         |         |         |         |         |         |         |
|          | 経営学                 | 経営学     | 経営学     | 経営学     | 経営学     | 経営学     | 経営学     | 経営学     | 経営学     | 経営学     |
| 融合科目     | 経営学部 履修系統図【第1部経営学科】 |         |         |         |         |         |         |         |         |         |
|          | 経営学                 | 経営学     | 経営学     | 経営学     | 経営学     | 経営学     | 経営学     | 経営学     | 経営学     | 経営学     |
| (C) 選択科目 | 経営学部 履修系統図【第1部経営学科】 |         |         |         |         |         |         |         |         |         |
|          | 経営学                 | 経営学     | 経営学     | 経営学     | 経営学     | 経営学     | 経営学     | 経営学     | 経営学     | 経営学     |
| (D) 演習科目 | 経営学部 履修系統図【第1部経営学科】 |         |         |         |         |         |         |         |         |         |
|          | 経営学                 | 経営学     | 経営学     | 経営学     | 経営学     | 経営学     | 経営学     | 経営学     | 経営学     | 経営学     |

経営学部 履修系統図【ビジネス法学科】

経営学部 履修系統図【ビジネス法学科】



経営学部 履修系統図【第1部経営学科・ビジネス法学科 スペシャルリスト養成コース／コンサルティングコース】

全学共通科目【外国語科目・広域科目】

| 学部基礎科目  | 情報実習Ⅰ   |                                                        |        |        | 情報実習Ⅱ  |                                                        |        |        |  |
|---------|---------|--------------------------------------------------------|--------|--------|--------|--------------------------------------------------------|--------|--------|--|
|         | 現代経営学Ⅰ  | 現代経営学Ⅱ                                                 | 現代経営学Ⅲ | 現代経営学Ⅳ | 現代経営学Ⅰ | 現代経営学Ⅱ                                                 | 現代経営学Ⅲ | 現代経営学Ⅳ |  |
| 学 科     | (A)必修科目 | 経営学Ⅰ                                                   |        |        |        | 経営学Ⅱ                                                   |        |        |  |
|         |         | 経営学Ⅲ                                                   |        |        |        | 経営学Ⅳ                                                   |        |        |  |
| 専 門     | (B)選択科目 | 経営学Ⅰ                                                   |        |        |        | 経営学Ⅱ                                                   |        |        |  |
|         |         | 経営学Ⅲ                                                   |        |        |        | 経営学Ⅳ                                                   |        |        |  |
| 科 目     | 総合科目    | 経営学Ⅰ                                                   |        |        |        | 経営学Ⅱ                                                   |        |        |  |
|         |         | 経営学Ⅲ                                                   |        |        |        | 経営学Ⅳ                                                   |        |        |  |
| (C)選択科目 | (a)     | 本コースに配当されていない、経営学部第1部経営学科、ビジネス法学科、経営学部第2部経営学科の科目       |        |        |        | 本コースに配当されていない、経営学部第1部経営学科、ビジネス法学科、経営学部第2部経営学科の科目       |        |        |  |
|         | (b)     | 全学共通科目【外国語科目・広域科目】（余剰単位）、および本学科に配当されていない全学共通科目【オープン科目】 |        |        |        | 全学共通科目【外国語科目・広域科目】（余剰単位）、および本学科に配当されていない全学共通科目【オープン科目】 |        |        |  |

(D)演習科目

演習Ⅰ（特別演習）→演習Ⅱ→演習Ⅲ→卒業研究

経営学部 履修系統図 【第1部経営学科・ビジネス法学科 スペシャルリスト養成コース／税法会計コース】

[illegible]

経営学部第1部経営学科・ビジネス法学科の科目  
全学共通科目の外国語科目・広域科目

B-36